

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』（汐見 夏衛／著）

八戸市立湊中学校 2年 志民 ひより

私は、この本を何度も読み返しています。戦争という悲しい出来事を、主人公と特攻隊員の恋と絡めたこの本からは、主人公の言葉を通して作者の思いまでもが伝わってきます。この本は、教師や親に反抗的な主人公が、戦時中にタイムスリップしてしまうというものです。自分とそう変わらない年齢の子どもたちが、勉強もできずに戦争に協力させられていたことを知り、心が苦しくなりました。戦争は昔の話だと思っていました。ですがロシアとウクライナの戦争を受け、今までより真剣に向きあえるようになったと思います。関係ないと切り捨てるのではなく、戦争のことを知り、平和について考えてみませんか。

『私は私のままで生きることにした』（キム・スヒョン／著 吉川 南／訳）

青森明の星中学校 1年 神田 杏花里

人はみんな、他人と比較し比べてしまいがちです。この本の題名にある「私のままで生きる」という言葉は、今の私達にとっても大切なことです。そもそも自分を好きになることから始まります。私は、自分の短所を見るのが嫌で、いつも私にも大切な人にも本当の自分をかくしてきました。そんな自分がまた嫌になり、結局目をそむけてしまったことがありました。挑戦するにも大きな勇気がいるように、自分を好きになることにも、大きな勇気が必要です。もし、私の大切な家族や友達が、人間関係や将来のことで悩んでいたら、この本で助けられた私のように、今度は大切な家族や友達、そしてあなたに読んでもらいたいです。自分に自信をもてるように。

『君が落とした青空』（櫻 いいよ／著）

五戸町立五戸中学校 1年 佐々木 菜緒

この本は、毎日は毎日続くわけではないこと、誰もが必ず終わりを迎えること、笑顔は人の心を動かすことを教えてくれる本だ。私は、毎日を普通に過ごしている。でも、毎日を普通に過ごすことができるのは、幸せなことだとこの本を読んで気付かされた。この本は、同じ日を7回も繰り返し大切な人の存在に気付くという話だ。何事にも終わりは必ずやってくる。だからこそ、今日という1日を充実させなければいけないと思う。時には涙を流すことも大切だと思う。つらいときはたくさん泣き、嬉しいときはたくさん笑う。当たり前のように、とても大事なことだと私は思う。だから、これからも友達や家族などを大切にしたい。